

立命館大学 オンラインシラバス / Ritsumeikan University Online Syllabus

科目名・クラス / Course title, Class	開講期間 / Term	曜日・時限(*1) / Day of the week, Period	単位数 / Credit	担当者名 / Instructor
生涯スポーツ論 (V) (副)ヒューマンライフ論 (F1) ヒューマンライフ論 (AI)	前期	前期 水 3(5-6)時限	2	長 積 仁
Fundamentals of Lifelong Sports (V) Making Health in an Aging Society (F1) Making Health in an Aging Society (AI)	Spring	Spring WED 3(5-6)Period		NAGAZUMI JIN

*1:時限は「文社系(理系)」で表記しています。

*1:Period number outside the brackets is that for arts and social science students and within the brackets is that for science students.

授業の概要と方法 / Course Outline and Method

人々とスポーツのかかわりは多面的であり、スポーツにまつわる現象や期待は身体的・精神的・社会的効果に留まらず、経済や地域開発にも及んでいる。この講義では、我が国におけるスポーツ政策の基軸である「総合型地域スポーツクラブ」が地域社会で果たす役割と機能を鑑みながら、子どもから大人まで生涯にわたって、「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツにかかわることのできるような豊かな生涯スポーツ社会を実現するために必要な基礎知識とともに、生涯スポーツに対する能動的な姿勢を養うことを目的とする。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ①現代社会における人と生活とスポーツとのかかわりに対する理解と関心を深めることができる。
- ②生涯スポーツに関する視角を養うとともに、関連する諸現象を分析する能力を養うことができる。
- ③授業で得た基礎知識を、生涯スポーツの実践の場で適用・応用できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Course

授業スケジュール / Course Schedule

テーマ / Theme

キーワード・文献・補足事項等 / Keyword, References and Supplementary Information

第1回：生涯スポーツの概念：“sports for all”から“sports for everyone”へ

【キーワード・文献・補足事項等】スポーツの語源 近代スポーツの概念 体育とスポーツの違い スポーツの文化的意義 生涯スポーツの考え方

第2回：ライフステージとスポーツライフ：人とスポーツのかかわり方

【キーワード・文献・補足事項等】発達概念 スキャモンの発育発達曲線 ライフステージ スポーツライフ スポーツへの社会化

第3回 ～ 第4回：スポーツマンシップについて考える：“知・徳・体”の感性を持ち備えたアスリートとは？

【キーワード・文献・補足事項等】遊び ホイジギンとカイヨウ スポーツマンの意味 スポーツと教育 ルールの意味 覚悟と尊重

第5回：子どもとスポーツのかかわり：encourageとempowerment

【キーワード・文献・補足事項等】コーディネーション 生活時間とスポーツ活動 スポーツ参与 指導の介入の考え方 アクティブ・リスニング

第6回：青少年のスポーツ：スポーツ選手におけるストレスの心理的背景

【キーワード・文献・補足事項等】スポーツ少年団 スポーツ障がい バーンアウト ドロップアウト ストレスコーピング

第7回：高齢者とスポーツ：“枯齡”から“華齡”へとシフトするジェロントロジー

【キーワード・文献・補足事項等】エイジズム 加齢 不健康がもたらす経済的損失 発達課題 再社会化 QOL シルバーマーケット ウェルネス

第8回：障がいのある人とスポーツ：アダプテッド・スポーツへの誘い

【キーワード・文献・補足事項等】障がい者スポーツの歴史 障害者福祉施策 障害者基本法と発達障害者支援法 ユニバーサル・デザイン

第9回：スポーツボランティア：“遠慮がちな”ボランティアの力をカタチに変える

【キーワード・文献・補足事項等】ボランティアの歴史・定義 ボランティアの特徴 ボランティア養成システム ボランティアの心理とマネジメント

第10回：スポーツイベントとスポーツツーリズム：都市とスポーツのつながり

【キーワード・文献・補足事項等】イベントの類型・機能と役割 企画・運営 スポーツコミッション トラベルビジネスの構造 ツーリズムのインパクト

第11回 ～ 第12回：ヘルスプロモーション：行動変容と社会変革のための戦略

【キーワード・文献・補足事項等】WHO（世界保健機関）ヘルスプロモーションの理論とモデル：上流・中流・下流アプローチ 公助・共助・自助

第13回 ～ 第14回：自助・共助・公助で育む総合型地域スポーツクラブ：新しい公共を担う総合型クラブの発展的課題

【キーワード・文献・補足事項等】クラブの概念 スポーツ振興システム上の問題 総合型地域スポーツクラブ スポーツ政策とクラブ育成 自律性

第15回：スポーツ・プロデュース：する・みる…そして、支える・創るというスポーツへの関わり方

【キーワード・文献・補足事項等】ドラマ性 コンテンツ ジャーナリズム メディアリテラシー 社会的アイデンティティ PCM スポーツ・プロデュース論

授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

【授業の方法】

授業は講義が中心であるが、毎回、授業内容に関する感想・批判・意見・質問を200字程度で提出してもらう。それらの感想を用いて、授業の復習及び授業内容に対する理解を促す。

【授業外学習の指示】

書籍・雑誌・新聞などを用いて、授業に関連するトピックや事象にかかわる情報収集、理解を深める努力をすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) / End of Semester Examination	80 %	授業で扱った基本概念や用語の説明や、授業で学んだ知識を実社会や想定した状況下において、適用・応用できるかを判断するための論述問題を出す。採点基準は、内容の正確性、文章の構成と論理性に重点を置く。ただし、定期試験への受験資格は、2/3以上の出席をしたものに限る。
レポート試験 / Report Examination (統一締切日を締切とするレポート) (A report to be submitted by the standard deadline)	0 %	
上記以外の試験・レポート、平常点評価 Exams and/or Reports other than those stated above, and Continuous Assessment	20 %	生涯スポーツが成立するための条件や仕組みについて考える機会を提供するために、活動実践の場に直接足を運び、関連資料の収集、活動記録、また現場の生の声をインタビューで拾い集め、着目した題材の問題と課題、またその解決策についてレポートする。レポート作成やその評価基準の詳細については、授業中に資料を配付し、説明する。また毎回、その授業内容に関する200字程度の感想を提出してもらう。内容の妥当性を判断し、評価する。
備考 / Note		
受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods		
まず、時間と期限を厳守すること。次に、遅刻や授業中に私語をして周りに迷惑をかけたり、携帯通信機器の使用や居眠りをして授業の雰囲気や崩したりするような、授業に対して緊張感が保てない学生の受講は認めない。また大学での学び方は受け身ではなく、より積極的な態度と行動が求められる。これまで培ってきた「教えてもらう」という受け身の姿勢から脱皮し、何事に対しても「自ら調べ、考え、探究する」という自発的な姿勢を身に付けてほしい。		
教科書 / Textbooks		
備考 / Note		
教科書は指定せず、適宜、必要な資料を配付する。		
参考書 / Reference Books		
書名・著者・出版社・ISBNコード・備考 / Title・Author・Publisher・ISBN Code・Comment		
『「生涯スポーツ実践論」』川西正志・野川春夫編著 市村出版 4-902109-08-5		
『「スポーツ白書」』SSF笹川スポーツ財団 4-915944-39-5		
『「生涯スポーツの理論」』金崎良三 不昧堂出版 4-8293-0395-6		
備考 / Note		
上記の書籍は、授業内容の理解を深めるために役立つものであり、また授業内でカバーしきれない内容についての興味・関心を促すものである。		
参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference		
授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)		
学生との直接対話／Talk with Students 「その他」が表示されている場合は、連絡方法の詳細があります。受講登録をしている学生のみ、この授業のmanaba+Rの「授業計画表」ページから詳細が閲覧できます。 If "Other" is displayed in "How to Communicate with the Instructor", students registered to take this course can view details on the instructor's contact information in Course Schedule on the manaba +R website.		
備考 / Other Comments		
拡張項目		